

2018年（平成30年） 3月発行 第100号

松原介護者家族の会だより

発行 松原介護者家族の会

松原市天美北6丁目446-5

NPO法人介護支援の会松原ファミリー内

TEL 072-332-3226



榎尾弘子画

＝ 介護の悩み、苦しみを互いに話し合い、
教えあい、励ましあいませんか？ ＝

2017年 遠距離介護セミナー

『「こんなはずじゃなかった」と、ならない施設選び』に参加して。



講師：岩澤 純 先生
介護支援専門員 社会福祉士 介護福祉士 パオッコ顧問

2017年11月19日（日）コンベンションルーム「AP 大阪梅田茶屋町」にて一般財団法人住友生命福祉文化財団及びNPO 法人パオッコ主催のセミナーに参加しました。
当日の資料の中から一部抜粋して掲載させていただきます。

遠距離介護の定義（私案）

日々の関わりが難しい程度の距離の自宅等で暮らす老親を、親元に通いながら、あるいは離れて暮らしているが、自立支援を重視しつつ生活全般に渡る支援を行なうこと

施設種別のいろいろ

●「種別」ごとの基本的な特徴を知っておこう

- 特別養護老人ホーム（特養）/ 介護老人福祉施設……重度者向け・終の棲家
- 介護老人保健施設（老健）……リハビリして自宅や施設へ
- 介護療養型利用施設（療養病床）……治療不要・医療ケア要
- グループホーム……認知症の方を家庭的な環境でケア
- 有料老人ホーム（特定施設）……定額介護サービス付き
- 有料老人ホーム（住宅型）……在宅サービス利用（出来高制）
- ケアハウス・軽費老人ホーム……見守り付き福祉施設
- サービス付き高齢者住宅（サ高住）……見守り付き賃貸住宅
- 小規模多機能（小多機）……訪・通・泊の定額在宅サービス

●「種別」ごとの申込要件を知っておこう

- 要介護度要件（右記表参照）
- 地域密着型サービスは区市町村民限定

グループホーム、（看護）小規模多機能、地域密着型特養、地域密着型特定施設 等

施設選びの「いろは」

● 先ず「予算」を考えよう

● 「譲れない条件」を考えよう

本人の居住地域か、子の居住地域か 必要な医療ケアは何か
本人のこだわり、家族のこだわり

● 地域の情報収集を試みよう

「介護サービス情報公表システム」でウェブ検索、地域包括支援センターに相談
在宅サービスの担当ケアマネジャーに訊く、有料老人ホーム等の紹介センターを利用

	施設名	要介護度	初期費用 (入居一時金や敷金)	月額利用料の 目安	所得に よる軽 減制度	認知症の 人の受け 入れ※1
介護型	特別養護老人ホーム(特養)	要介護3以上	0円	5万～15万円	あり	◎
	老人保健施設(老健)	要介護1以上	0円	6万～17万円	あり	◎
	介護付き有料老人ホーム 【特定施設※2】	要支援1以上	0～1億円	10万～40万円	なし	○
	介護型サービス付き高齢者 向け住宅(介護型サ高住) 【特定施設】	要支援1以上	0～数十万円	12万～25万円	なし	○
	グループホーム	要支援2以上	0～100万円	12万～18万円	自治体 による	◎
	ケアハウス【特定施設】	要支援1以上	0～数百万円	10万～30万円	あり	○
	小規模多機能型 居宅介護施設 (小規模多機能)	要支援1以上 (看護小規模多 機能は要介護1 以上)	居宅サービスの ため不要	介護度に応じて (例: 要介護3で 約2万5千円/ 食事代・宿泊費別)	なし	◎
住宅型	住宅型有料老人ホーム	自立～中度	0～1億円	10万～40万円 +介護費	なし	△
	サービス付き高齢者向け 住宅(サ高住)	自立～中度	0～数十万円	8万～20万円 +介護費	なし	△

※1 ◎は認知症に対応している、○は認知症に対応している施設が多い、△は各施設に要確認

※2 都道府県から「特定施設入居者生活介護」の事業指定を受けている介護付きの施設

参考文献:『高齢者施設 お金・選び方・入居の流れがわかる本』 太田 差恵子著(翔泳社)

● 施設へ出向いて見学してみよう

○ 施設へ電話して見学・入居相談の申込みを

<見学のポイント>

- ・食事、おやつ、レクリエーションの様子 ・職員の笑顔、挨拶 ・清潔さ、臭い
- ・利用者の表情、身なり ・居室や共有スペースの装飾、雰囲気、生活感

○ 地域包括等から情報を得て、新規施設の内覧会へ

● 体験利用をしてみよう

○ 昼食のみ / 数時間 / 一日 / 宿泊体験

○ ショートステイの利用

「第31回総会のご案内」

平素は「松原介護者家族の会」へのご協力ありがとうございます。
さて「第31回総会」を開催いたしますのでご案内いたします。
総会後は交流会も予定していますので、会員の皆さん是非ご出席くださいますように。

- ・ 日 時 5月15日(火) 総会 午後1時30分～2時
交流会 午後2時10分～3時
- ・ 場 所 ゆめニティまつばら 3階 多目的ホール

お手数ですが4月28日(土)までに同封のはがきにて
出欠のご返事をよろしくお願いいたします。





家族の会も認知症サポートプロジェクトの一団体として 今年も徘徊模擬訓練に参加しました。

2月18日(日)「河合小学校」にて、NPO 法人介護支援の会松原ファミリー主催の
「認知症高齢者 徘徊(一人歩き)声掛け模擬訓練」
～認知症になっても 安心して暮らせるまちづくりのために～が開催されました。
(松原市NPO 発! 市民の学び 応援事業)

認知症高齢者の「徘徊」という行動を理解し、困っているとき、徘徊を目前にして
いるときに、どのように対応し、安全に見守られるまちを地域の方と創っていきけるのか?
講演や「徘徊」声掛け模擬訓練をしたことで、徘徊への理解をさらに深めることが
できました。



「忘年会報告」

昨年12月6日(水)「木曽路」にて毎年恒例の忘年会を開き
21名の方が参加されました。

久しぶりにお会いする方々とは、顔を合わすなり「久しぶり～、
お元気ですか?」と声が飛び交い、また、初めて参加される
方も開始早々から旧知の親友の様に話しが弾み、近況やお互いの
介護の様子、健康状態などで話しが盛り上がっていました。



コーヒーの後は、恒例になっているプレゼントタイム。くじを引いた番号のプレゼントに歓声が
沸き、余ったプレゼントは2チームに分かれてじゃんけん大会。今年も楽しい忘年会になりました。
ただ、気がかりな事は、今年の1月『木曽路』が閉店になった事で次の場所を何処にするか?です。
皆さん、良い場所があればお知らせください。♡♡♡



【 皆さん・・・和気あいあい楽しませていました! 】

お知らせ



松原市地域包括支援センターホームページに家族の会会報掲載!

松原市地域包括支援センターホームページに「松原介護者家族の会だより」が掲載されることになり、2017年11月発行の第99号から掲載されています。

「松原市地域包括支援センター」で検索。「松原市地域包括支援センター・高齢者のご相談おまかせください」→「市民の皆様へ」でご覧ください。



☆☆定例交流会報告☆☆



定例交流会は毎月第1水曜日に介護中の方や看取った方が集まり開催しています。親しい友人のお部屋にお邪魔しているような、ゆったりとした雰囲気の中で日頃の介護の悩み、経験などを語り、情報交換などもしています。長く続く介護の日々を自身の健康のためにも、わかり合える仲間達と語り合って明日への力とつなげて頂けたら嬉しいです。

11月 14名参加

- ※ 初参加の方が2名来られました。
自営業のご主人(75歳)が脳出血で入院された後、運動機能に影響はないものの、思うように話せない、ひらがなは書けるが漢字が書けない、生年月日が分からない等の障害が残り、自営業の今後の事や、車を運転する事の不安など、介護をされている奥様からお話がありました。
- ※ もう一人の初参加のご主人を介護中の方は、昨年トイレの場所が分からない等の症状が出た為認知症薬を服用。その後、目の病気で手術後、経過観察中。今現在、日常生活は出来ているが夜に「家に帰る」発言や幻視が起こる…と今の状態を話されました。
- ※ 実父様を看取られ3年。久しぶりに参加された方は、今は実母様(82歳・要介護3)の介護をされており、デイサービスは4回/週利用しているがショートステイは利用出来ていないそうです。又、姉妹間の考え方の相違から今後の事について悩んでおられました。
- ※ 先月初参加の方からは、その後奥様は認知症薬を服用されるようになり、最近は落ち着いてきている…と報告に来られました。

12月 「忘年会」 P4に掲載



1月 14名参加

- ※ 今回も初参加の方が2名来られました。
若年性認知症で長期に渡り奥様の介護をされ、現在は、グループホームに入所され身体的には楽になりましたが…と当時の辛かった時の事など思いだしお話しして下さいました。
- ※ 81歳の実母様が、昨年夏ごろから家事が疎かになり、生活に支障が出始め、骨折をしたためか…と娘さんは思われていたそうです。その後、認知症が判った時より服薬をされていますが、薬の管理が実父様には出来ない…など、ご近所に住む娘さんとはご両親が高齢である心配と共に、先が見えない不安を訴えておられました。

2月 13名参加

- ※ 83歳のご主人を介護されている奥様からは、認知症や目の腫瘍と共に、その後、新たに水頭症を患われ手術をされたそうです。このように大変な中でも奥様は、ご主人の介護をされつつ、ご自分の趣味も楽しんでおられました。
- ※ 実母様(療養病床)を介護中の男性介護者の方は「その後、認知症が進み食事の混乱(食べた事を忘れる)が出てきた」と話され、今後寝たきりになるのでは…と心配されていました。
- ※ 3ヶ月前に実母様が亡くなられた男性介護者の方は、当時の介護の苦労を話されるとともに実母様の大好きだった歌を『ミニ・コンサート』で一緒に唄った事など思い出話がつませんでした。
- ※ 今月奥様の一周忌を迎えられた方からは、バイクのツーリングで奥様と二人乗りで出かけた思い出を話され「いろんな思い出に、妻に感謝している」と言っておられました。
- ※ 昨年実父様が亡くなられた後、介護されていた娘さんがご自身の今後について挨拶に来られました。以前から娘さんご自身、難病を持っておられ、今後は自分の事を中心に生活をしていきたいと思います。「介護は大変だったけど交流会で学んだ事を参考にし、父に対して女優(演技で接する事)にもなれました。後悔も有りません」と明るく話されていました。

訃 報

平成 29 年 11 月 5 日 大北 チヨ子さん 96 歳 (大北 博宜さん 実母)
平成 30 年 2 月 12 日 瀧山 謙 さん 85 歳 (瀧山 恭子さん 夫)



がご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。
介護されたご家族の皆様、お疲れ様でした。

∞ 定例交流会のご案内 ∞

場 所 : 「まつばらテラス (輝)」 2F 会議室3
松原市民体育館 北側

4月 4日 (水) 13 時~15 時
5月 9日 (水) 13 時~15 時
6月 6日 (水) 13 時~15 時
7月 4日 (水) 13 時~15 時
8月 1日 (水) 13 時~15 時

参 加 費 : 無 料

介護の苦勞の共有や情報の交換の場です。
どなたでもお気軽にご参加ください。

★★お問合せ★★

家族の会事務局 TEL 332-3226



あなたも「家族の会」の仲間になりませんか！

ひとりで悩まないで！ きっと仲間が見つかります。

* 定例交流会 「まつばらテラス (輝)」 2F 会議室3 (松原市民体育館北側)
少しでもよりよい介護が出来るよう、会員が集まって、日頃の介護の
悩みや体験談を語り合う介護者交流会を毎月開催しています。

* 介護でお悩みの方を紹介して下さい。

* ご入会お待ちしております。

- ・会 員・・・寝たきりや認知症など、ご家族を介護している方や介護を
してきた方。
- ・賛助会員・・・会の趣旨をご理解・ご賛同して下さる方や団体。

多 員・賛助会 員
募 集 中 で す

年 会 費 2,000 円 (会報や家族会の行事の案内をお送りします)

お問合せ 松原介護者家族の会 事務局 TEL 332-3226

